

日本体力医学会学会賞の受賞論文

学会賞 (JPFMSM) :

Pre-exercise casein peptide supplementation enhances endurance training-induced mitochondrial enzyme activity in slow twitch muscle, but not fast twitch muscle of high fat diet-fed mice

Yutaka Matsunaga¹, Yuki Tamura¹, Yumiko Takahashi¹, Hiroyuki Masuda¹, Daisuke Hoshino¹, Yu Kitaoka¹, Noriko Saito², Hirohiko Nakamura², Yasuhiro Takeda² and Hideo Hatta¹

¹*Department of Sports Sciences, The University of Tokyo*

²*Nutritional Science Institute, Morinaga Milk Industry Co., Ltd.*

奨励賞 :

小中学生における2年間の運動状況と踵骨超音波骨量指標の縦断的検討

山北 満哉¹, 佐藤 美理², 安藤 大輔³, 鈴木 孝太⁴, 山縣 然太郎^{2,4}

¹北里大学一般教育部人間科学教育センター健康科学単位,

²山梨大学大学院医学工学総合研究部附属出生コホート研究センター,

³防衛大学校体育学教育室,

⁴山梨大学大学院医学工学総合研究部社会医学講座

平成28年度学会賞選考を振り返って

学会賞選考委員長 浜岡 隆文

まずは、学会賞を受賞されました先生方におかれましては、誠におめでとうございます。さて、例年、本学会の学会賞は、前年度に学会員が筆頭著者として執筆した原著「体力科学」および「The Journal of Physical Fitness and Sports Medicine, JPFMSM」のそれぞれから一編と、両誌をあわせて若手筆頭著者の論文の中から学会賞にふさわしい業績と認められるものを選定しております。その結果、今回は、学会賞 (JPFMSM)、奨励賞にそれぞれ上記の二編が選出されました。しかし、今回の選考対象論文の中から、学会賞 (体力科学) に相応しい論文を見出すことができず、授賞を見送ることとなりました。

今般、体力科学分野においても、質の高い国際誌が数多く存在する中で、学会員に本学会のオフィシャルジャーナル「体力科学」への投稿を呼びかけ、質の高い論文を出版することは難しい課題であります。その上で、学会員の皆様には、厳選された研究結果を是非とも「体力科学」に投稿され、栄えある学会賞 (体力科学) を受賞される夢を見ていただき、その夢を実現されることを祈念いたします。

一般社団法人日本体力医学会定例理事会（2016年5月）議事録

日時：2016年5月20日（金）午後6時00分～7時30分

場所：AP東京丸ノ内 Fルーム

議長：鈴木政登理事長

出席者：鈴木政登、西平賀昭、永富良一、碓井外幸、
小野寺昇、甲斐裕子、勝村俊仁、川原 貴、
後藤勝正、坂本静男、下光輝一、須田和裕、
武政 徹、竹森 重、田中喜代次、田畑 泉、
成田和穂、宮地元彦、山内秀樹（各理事）、
井上 茂、清田 寛、小林康孝、
定本朋子（各監事）、
田島文博（第70回大会長・和歌山）、
山本直史（第72回大会長代理・愛媛）

欠席者：大野 誠、栗原 敏、内藤久士、西牟田守、
能勢 博、浜岡隆文（各理事）、
立身政信（第71回大会長・岩手）

【審議事項】

1. 前回議事録の承認

理事会開催中に各自で議事要旨の内容確認を行い、訂正等がある場合は申し出ていただくこととし、理事会終了後に承認とすることとした。

2. 日本体力医学会健康科学アドバイザー新規申請者について（碓井称号委員長）

日本体力医学会健康科学アドバイザーの新規申請者2名の氏名リストが提示され、承認された。

3. 平成28年度決算見込みについて（勝村財務委員長）

資料に基づき、平成28年度決算見込みについて報告があり、正式な決算は8月の理事会で報告予定であると説明された。

4. 平成29年度予算案について（勝村財務委員長）

資料に基づき、法人4期目（2016年8月1日～）となる平成29年度予算案について報告があり、赤字体質の財政が改善出来ていないため、7月中に関係役員で費用削減や収入増加の方法について検討する予算会議を設け、次回8月理事会にて改善した予算を提案する予定であると説明があり、継続審議となった。

5. 平成29年度事業計画案について（武政総務委員長）

資料に基づき、平成29年度事業計画案について報告があり、審議の結果、承認され、9月の社員総会に諮ることとした。

6. 学会賞について

（浜岡学会賞選考委員長代理鈴木理事長）

学会賞選考委員会からの提出資料に基づき、審査経過ならびに審査結果が報告された。5月13日に開催された委員会において、学会賞（体力科学）については、学会誌のさらなるレベルアップによる学会の活性化を呼びかける強いメッセージとして授賞を見送る事にした点および学会賞（JPFMSM）、奨励賞については、下記2編の論文を各学会賞に選考したことが報告され、

承認された。

【学会賞（JPFMSM）】

◎「Pre-exercise casein peptide supplementation enhances endurance training-induced mitochondrial enzyme activity in slow twitch muscle, but not fast twitch muscle of high fat diet-fed mice」(4巻5号)
Yutaka Matsunaga, Yuki Tamura, Yumiko Takahashi, Hiroyuki Masuda, Daisuke Hoshino, Yu Kitaoaka, Noriko Saito, Hirohiko Nakamura, Yasuhiro Takeda and Hideo Hatta

【奨励賞】

◎「小中学生における2年間の運動状況と踵骨超音波骨量指標の縦断的検討」(体力科学64巻1号)
山北満哉, 佐藤美理, 安藤大輔, 鈴木孝太, 山縣然太郎

7. 第6回国際スポーツ医科学ネットワークフォーラム長野2016の後援名義について（鈴木理事長）

信州大学より、第6回国際スポーツ医科学ネットワークフォーラム長野2016の後援名義の依頼文書が届いたことが報告された。依頼内容を確認した所、特に問題は見当たらないため後援名義を許可することが、承認された。

8. 医学教育のカリキュラム共同提案について（鈴木理事長）

日本臨床栄養学会より、医学教育のカリキュラム共同提案についての依頼文書が届いたと報告があった。依頼内容は栄養学カリキュラム案について賛同するかしないかが求められており、審議の結果、現状の内容全てに賛同できるものではないため、見送ることとした。

9. その他

1) 日本生理学会での他学会連携委員の推薦について（鈴木理事長）

日本生理学会より、他学会連携委員の推薦依頼があり、和気秀文会員（順天堂大学）を推薦することが提案され、審議の結果、承認された。

2) 熊本地震の対応について（鈴木理事長）

東日本大震災の時に、学会HP上でお見舞い文および被災対象地域に在住の会員の会費を免除したこと等、過去の経緯の説明があり、今回の熊本地震の対応についても学会HP上で同じくお見舞い文の掲載および被災対象の会員から申請があった際は、会費免除するということが提案され、審議の結果、承認された。

3) 茨城大会について（武政総務委員長）

総務委員会より第74回茨城大会の大会長候補者として、「田中喜代次先生（筑波大学・教授）」を社員総会に推薦したい、との提案がなされ承認された。

【報告事項】

1. 各種委員会報告

- 1) 総務委員会（武政委員長）
 - ・資料に基づき、賛助会員の（株）ブルボンから退会届が提出されたことが報告された。
 - ・資料に基づき、4月17日に碓井非常務理事とともに福井大会に視察に行き、実行委員会が決まったことが報告された。
- 2) 編集委員会（田中委員長、後藤副委員長）

編集委員会報告として配布資料が配られ、以下の通り報告された。

 - ・投稿状況

「JPFMSM」誌：新規投稿29編（内海外6編）
 ※前年同期間：新規投稿18編（内海外3編）
 （採択＝6編、審査中＝7編、不採択＝15編、※受付不可1編）
 ※海外：マレーシア、中国、スペイン、トルコ、ブラジル、ベルギー（海外は全て不採択となっている。）

「体力科学」誌：新規投稿32編
 ※前年同期間：新規投稿41編
 （採択＝12編、審査中＝9編、不採択＝11編）
 - ・掲載予定

「JPFMSM」誌
 ○Vol. 5, No. 2（2016年5月25日発行）
 Invited Reviews 6編、Short Reviews 2編、Regular Articles 2編
 5/14(土)、J-STAGE公開。5/17(火)、ジャーナル発刊情報メール配信。5/31(火)、冊子発送完了予定。

「体力科学」誌
 ○Vol. 65, No. 3（2016年6月1日発行）
 依頼総説2編、原著4編、教育講座1編
 5/14(土)、J-STAGE公開。5/31(火)、冊子発送完了予定。
 - ・その他
 - 1) 「JPFMSM」誌、投稿規定改訂について
 Article Typeに[Case Reports]を追加（編集委員会【メール審議中】）。
 - 2) 検討事項
 「Invited Review articles and Short Review articles (2017 Vol. 6)」について
 （Vol. 5については、4月中に決定、5月にHPに掲載している。）
 - ・商業目的の著作権料について
 ある企業から掲載された論文の製品に関連する、別刷りを印刷して、学会等で配布したいとの依頼があったことが報告された。これについて理事会で審議した結果、まずは他学会の動向を利益相反委員会で調査し、その情報を基に8月の理事会で方針を決めることとなった。
 - ・他誌で論文が掲載されている未発表の演題について
 岩手大会に演題登録した会員から、他誌で既に論文投稿済みの内容を発表したいと申し出があっ

たことが報告された（発表については未発表）。これについて理事会で審議した結果、既に論文投稿した雑誌社に了承を得て、かつ岩手大会長にも了承を得られた場合、発表を可能とするということと連絡することとした。

3) 学術委員会

- ・スポーツ医学研修会実行委員会（山内委員長）
 今年のスポーツ医学研修会も参加人数が20名を超え開催する方向で進めていること、応用コースのプログラムに研究計画の作成と遂行に関するQ&Aを加えたことが報告された。

4) 渉外委員会（永富委員長）

- ・国際交流事業の見直しを検討し、過去1年間で発表された抄録と報告を提出してもらい、審査委員会で審査し、賞金という形で進めるとの報告があった。
- ・国際学術交流として、大会時に著名な先生をエコノミークラスの旅費を予算として招聘することを検討していると報告された。
- ・プレオリンピックコンgresについて、2019年に日本体育学会が中心で動いており、関連学会に打診が来る可能性があるかと報告された。

5) 倫理委員会（成田委員長）

- 現在研究倫理審査規程および申請書のひな形を作成中であると報告された。

6) 広報委員会（甲斐委員長）

- HPアクセス解析ツールを導入して、現在情報を集めている最中であり、8月の理事会にその結果を報告する予定であるとの説明がなされた。

7) 男女共同参画推進委員会（田畑委員長）

- 学会大会前日に委員会を開催し方向性を決める予定と報告された。

2. 第70回（和歌山）大会報告について

（田島第70回大会長）

資料に基づき、大会収支決算について報告があり、黒字決算とはならなかったが、赤字部分については同門会で補てんする予定であると報告された。

また、マイナンバー制度が始まるため、大会運営に余計な費用が掛かってくる可能性があることが報告された。

3. 第71回大会（岩手）の準備状況について

（永富第71回大会副会長）

大会の準備状況等について報告があった。
 会期：2016年9月23日(金)－25日(日)
 会場：マリオス、アイーナ

4. 第72回大会（愛媛）の準備状況について

（山本第72回大会長代理）

大会の準備状況等について報告があった。
 会期：2017年9月16日(土)－18日(月)
 会場：愛媛大学城北キャンパス、
 松山大学文京キャンパス

一般社団法人日本体力医学会定例理事会（2016年8月）議事録

日 時：2016年8月26日（金）午後5時30分～7時30分

場 所：AP東京八重洲通りSルーム

議 長：鈴木政登理事長

出席者：鈴木政登、西平賀昭、永富良一、碓井外幸、
甲斐裕子、勝村俊仁、川原 貴、栗原 敏、
後藤勝正、坂本静男、武政 徹、田中喜代次、
成田和穂、西牟田守、宮地元彦、
山内秀樹（各理事）、
清田 寛、小林康孝（各監事）、
立身政信（第71回大会長・岩手）

欠席者：小野寺昇、下光輝一、須田和裕、竹森 重、
田畑 泉、能勢 博、浜岡隆文（各理事）、
井上 茂、定本朋子（各監事）、
三浦裕正（第72回大会長・愛媛）

【審議事項】

1. 前回議事録の承認

理事会開催中に各自で議事要旨の内容確認を行い、訂正等がある場合は申し出ていただくこととし、理事会終了後に承認とすることとした。

2. 平成28年度庶務報告に関する件について （武政総務委員長）

2016年7月31日現在、会員総数4,362名、新入会員347名、退会者414名（内自然退会228名）、購読数は155団体であるとの報告がなされた。また、2年以上会費未納者リストが提示され、2年以上会費未納者については第71回岩手大会を期限として、自然退会とすることが承認された。

3. 平成28年度会計報告（決算）に関する件について （勝村財務委員長）

資料に基づき、平成28年度決算見込みについて報告がなされた。

収入の部 予算に比べて会費収入が約295万円、大会開催収入が約790万円、研修会収入が約61万円、広告収入が約15万円、雑収入が約4万円増収した結果、年度内収入は別途積立金取り崩し収入を含めて100,388,962円であった。

支出の部 予算に比べて事業費は約139万円、大会開催費が約753万円、国際交流事業経費が約57万円が予算を上回るも、全体の支出としては、90,114,163円であった。

以上により当年度収支としては10,274,799円の黒字となり、次年度繰越金は60,991,827円になったとの報告があった。本決算については公認会計士にチェックが行われる事が併せて報告があり、引き続き清田監事より監査報告が行われ、平成28年度決算が承認された。

4. 平成28年度事業報告に関する件について （武政総務委員長）

資料に基づき、平成28年度事業報告がなされ、承認

された。

5. 平成29年度事業見直しについて（鈴木理事長）

資料に基づき、平成29年度予算についての見直し案が出され、以下①～④の事業見直し案が理事会で承認された。

①プロジェクト研究廃止案について

理事会で本案が承認された。2018年度で現在のプロジェクト研究は全て終了するので、2017年度は200万円、2018年度は100万円計上し、2019年度以降プロジェクト研究予算は0円となる。

②名簿作成費削減について

2016年からオンライン名簿が稼働されている。これに関する支払いは2017年度に持ち越されたため、その予算として100万円計上する必要がある。2017年以降は運用費のみで、年間420,000円の予定である。名簿作成費として年間200万円積み立てていた金額が42万円で済むことになり、2018年度から158万円の削減となる。

③地方会補助金削減案について

現在、学会本部から年総額2,850,000円補助している。中国・四国、近畿、東海、北陸、東北、北海道の6地方会には年額350,000円補助しているが、200,000円に減額、関東地方会には750,000円補助しているが、450,000円に削減すると、総額1,650,000円となり、1,200,000円削減されることが理事会で承認された。これは、2017年8月1日以降の実施となることも承認された。

④学会本大会への補助金削減案について

現在、学会本部から300万円補助しているが、2020年（鹿児島）開催の学会大会から200万円に減額することが承認された。これで、100万円の削減となる。

以上、4つの削減案が理事会で承認された。総額6,780,000円の削減が完全に実施されるのは2019年からである。それまでの間、学会本部積立金を取り崩して不足分を補填していく事になった。

なお、学会誌（体力科学、JPFMSM）掲載料の値上げ案について学会員への特典を含めて、編集委員会で再度議論の上で改めて理事会に編集委員会案として提出することになった。

6. 平成29年度会計報告（予算）に関する件について （勝村財務委員長）

資料に基づき、予算について説明がなされた。平成29年度事業見直しを受けて、9月の理事会時に予算を改めて提示する事とした。

7. 評議員推薦及び評議員選考内規について （大野評議員選考委員長）

評議員選考委員会において申請者22名に対するの審査を行い、その結果21名の候補者が評議員選考条件を満たした旨の報告があり、2016年度評議員候補者として21名（内、女性7名）を評議員会に推薦すること

が承認された。また、評議員選考内規の内容をより明確な文章で表現するために、付則1)、2)および3)の内容を下記のように修正する案が提示され、承認された。

付則1) 体力医学に関係する領域の研究で学会で評議員を務めるかこの領域で博士の学位を取得しており、内規2を満たす研究歴と研究業績を認め、本学会の正会員歴が4年以上継続している場合には別途考慮する、評議員に推薦することができる。

付則2) 日本体力医学会より授与された日本体力医学会健康科学アドバイザーの称号を有しており、内規2を満たす研究歴と研究業績を認め、本学会の正会員歴が4年以上継続している場合には別途考慮する、評議員に推薦することができる。

付則3) 研究業績については、原則として、体力医学に関係する原著論文(審査を受けた学術論文の筆頭著者)が5編以上あることを基準として、評議員選考委員会で審議する。

#二重取り消し線：旧内規付則の文言を削除した部分
下線：新たに追加した文言

8. 日本体力医学会健康科学アドバイザー®継続申請者について(碓井称号委員長)

日本体力医学会健康科学アドバイザー®継続申請者16名の氏名リストが掲示され、承認された。(内、終身称号者は4名)

9. 第27回スポーツ医学研修会修了試験結果について(碓井称号委員長)

研修会を受講した参加者の内22名が8月7日に修了試験(試験問題50問)を受け、18名が合格(4名不合格)した旨と試験の概要について報告がなされ、承認された。

10. 著作権料の設定について(後藤編集副委員長)

資料に基づき、学会の著作物の二次使用について手続きと許諾料の案の報告がなされ、承認された。

なお、許諾料の詳細については、学会HP「学会刊行物の二次使用許諾申請について」(参考URL: <http://www.jspfsm.umin.ne.jp/journal/niji.htm>)に掲載された。

11. その他

・体力科学、JPFISMの投稿規定に掲載する利益相反に関する事項について(宮地利益相反委員長)

資料に基づき、学会誌投稿に関する利益相反事項の掲載について報告がなされ、承認された。

【報告事項】

1. 各種委員会報告

1) 編集委員会(田中委員長)

・体力科学、JPFISM共に順調に進行しており、総説執筆予定者を編集委員会からお願いして、人数

を確保したことが報告された。

・JPFISMでは今年度から会員向けに掲載論文の告知メール配信を始めたこと、原稿カテゴリーとしてCase Reportsの追加など投稿規定の改定を実施した。今後さらに、Study Protocolの追加を予定していることが報告された。

2) 倫理委員会(成田委員長)

・資料に基づき、倫理審査を受け付ける準備を進めていることが報告された。

3) 渉外委員会(永富委員長)

・資料に基づき、ECSS参加報告書について報告された。

・資料に基づき、国際学術交流奨励賞の新設について報告された。今年度は21名の応募があり、渉外委員会の審査の結果、8名に国際学術交流奨励賞を授与することが報告された。

・脳心血管病予防に関する包括的リスク管理チャートの活動報告を、JPFISMに掲載予定である旨が報告された。

4) 学術刊行物小委員会(永富委員長)

・メディカルフィットネスについて報告された。なお、詳細は後日書面にて連絡される旨、報告された。

5) 広報委員会(甲斐委員長)

・将来構想委員会からの意見により、HPの改定案について報告された。

一般の人達でも理解頂けるような、学会の業績が伝わりやすいコンテンツを開発することについて提案があり、理事会で承認され、委員会で検討を進めていくこととなった。

2. 第71回大会(岩手)の準備状況について(立身第71回大会長)

会期：2016年9月23日(金)～25日(日)

会場：マリオス、アイーナ

テーマ：東北の再生と復興をめざすスポーツ振興と体力医学

3. 2020年東京オリンピック・パラリンピックとの兼ね合いについて(甲斐広報委員長)

HP等でどんな貢献ができるのか、取組みを紹介できるコーナーを作成する案が報告された。東京2020参画プログラムに申請して認められれば東京オリンピック・パラリンピックの文言を活用できるので、申請を行うのはどうかと提案があった。

鈴木理事長より、2019年に日本生理学会と共催で第9回アジア・オセアニア生理学会大会に参加する旨が再確認され、HP等での取組み紹介の案は見送ることとした。

4. アジア・スポーツ医学連盟の理事選挙について(坂本理事)

12月17日に香港で行われるアジア・スポーツ医学会の理事選挙について、引き続き坂本理事、勝村理事の案が提案され、承認された。

第78回日本体力医学会中国・四国地方会のご案内

期 日：平成28年11月19日(土)、20日(日)

会 場：山口大学大学会館会議室
(山口県山口市吉田1677-1 吉田キャンパス)

○プログラム

- 1 日目：平成28年11月19日(土)
- 12：00～12：40 当番事務局連絡会
(山口大学大学会館セミナー室)
 - 12：40～13：00 幹事会
(山口大学大学会館セミナー室)
 - 12：45～13：15 受付
 - 13：15～13：20 挨拶
 - 13：25～15：30 研究発表(1)
 - 15：30～15：45 コーヒーブレイク
 - 15：45～17：15 教育講演「噛む力と健康」
*平成28年度全国大学体育連合中四国支部
第2回研修会(講演会)を兼ねる。
講師：鈴木政登先生(東京慈恵会医科大学客員教授)
座長：塩田正俊先生(山口大学教授)
 - 18：30～20：30 情報交換会(於：セントコア山口)
- 2 日目：平成28年11月20日(日)
- 9：00～9：30 受付
 - 9：30～12：00 研究発表(2)
 - 12：00～12：20 日本体力医学会中国・四国地方会
奨励賞受賞講演
 - 12：20～12：40 総会

○学会および情報交換会の参加の申し込み

学会および情報交換会の参加申し込みは10月21日(金)【必着】までにFaxまたはE-mailでお願いします。Faxの場合は、別紙申し込み票をご利用頂き、E-mailの場合も同様の内容をお知らせください。

○学会参加費

無料(日本体力医学会の非会員者は1,000円、講演会のみ参加の場合は無料)

○情報交換会

情報交換会費：5,000円(学生・院生：2,500円)
※会費の支払いは、学会当日受付にてお願いします。
会場：「セントコア山口」山口市湯田温泉3-2-7
TEL：083-922-0811

○演題申し込みおよび予稿集原稿

- ・演題の申し込みはFaxもしくはE-mailで10月21日(金)【必着】までをお願いします。
申し込みの際には、以下の4項目についてお知らせ下さい。
 1. 発表者、2. 所属、
 3. 連絡先(Tel, Fax, E-mail) 4. 演題名
(Faxの場合は別紙申し込み票をご利用ください)
- ・予稿集の原稿を10月28日(金)【必着】までに郵送またはE-mail(ワード添付書類)でご提出ください。
原稿はA4用紙2枚に上下左右の余白を2cm取り、タイトルは18ポイント、所属・氏名・本文は12ポイントで作成してください。発表者が複数の場合は、演者の前に○印を付けてください。添付されたWord書類はこちらで印刷し、郵送原稿はそのまま

複写します。図表も添付可能ですが、こちらで若干の修正を加えさせて頂く場合がありますのでご了承ください。

○一般発表について

- ・発表時間は、発表10分、質疑応答4分の計14分とします(演題数によって変更有り)。
- ・発表は、パソコンの画面映写とします。プロジェクタはこちらで準備します。
- ・事務局側で準備するパソコンのOSおよびアプリケーションは下記の通りです。
Windows8：Power Point 2010
(Macintosh本体の用意はいたしません)
- ・ご自身のパソコンを持ち込まれて発表されても構いませんが、ケーブル接続等の作業につきましては発表者ご自身でお願いします。
- ・Macintoshはプロジェクタとの接続に変換ケーブルが必要です(変換ケーブルの種類は機種によって異なります)。ケーブルは発表者が必ずご持参ください。

○会場案内

山口大学HP：<http://www.yamaguchi-u.ac.jp/>参照
※JR「湯田温泉駅」が最寄りとなります。「湯田温泉駅」から吉田キャンパスまでは、タクシーで約7～8分、徒歩で約25分です。
※高速道路の場合は山口ICあるいは小郡ICで降りていただくと、各ICから15分程度です。
※車の場合は正門からお入り頂き、守衛にお声がけください。学内の駐車場は無料です。

○宿泊施設

湯田温泉のホテルは、大学へのアクセスも良く、情報交換会場、繁華街に近く、お勧めです。
詳しくはインターネット等でお調べいただき、各自で手配をお願いします。

○学会誌「体力科学」への掲載用原稿

学会誌「体力科学」への掲載用原稿は、地方会事務局がとりまとめ、学会誌編集事務局へ送付します。下記の書式に従い、E-mailにて11月27日(日)【必着】までに地方会事務局へお送りください。なお、筆頭著者は日本体力医学会の会員に限られますが、共著者はその限りではありません。

掲載原稿送付先：jpsfm@mw.kawasaki-m.ac.jp
(地方会事務局)

(提出原稿書式)

- 1) 原稿の1枚目から演題名、発表者名、所属名、本文の順にお書きください。
- 2) 900字以内になるよう作成してください(演題名、発表者名、所属名、本文を含む)。
- 3) 図表は認められません。

○問い合わせ等

〒753-8513 山口県山口市吉田1677-1
山口大学教育学部 曾根涼子 宛
TEL：083-933-5389 FAX：083-933-5389
E-mail：sone@yamaguchi-u.ac.jp

「第168回日本体力医学会関東地方会」開催のご案内

学会員の皆様におかれましてはご清祥のことと拝察致します。

標記の件につきまして、下記日程にて開催いたしますのでご案内申し上げます。一般口頭発表（発表8分、質疑応答2分の予定）の応募を受け付けます。内容は体力医学に関するものでしたら何でも結構です。若手の研究者の優れた一般口頭発表3題程度に優秀演題表彰を行いますので、奮ってご応募下さい。一般口頭発表応募の締め切りは平成28年11月12日（土）とさせていただきます。ご応募の方はご所属、連絡先（メールアドレス）、演題名、及び優秀演題表彰への応募の有無を、下記連絡先までお知らせください（件名に、第168回日本体力医学会関東地方会発表応募、と記載願います）。

テーマ：「運動は内臓疾患の予防・改善に有効か？」

開催日時：平成28年12月3日（土）

14：00～18：30（予定）

場所：首都大学東京・荒川キャンパス

(<http://www.hs.tmu.ac.jp/access.html>)

プログラム（予定）

1. 一般口頭発表（発表時間8分、質疑応答2分の予定）

優秀演題表彰応募資格：

下記①及び②の条件を満たす方。

- ①関東地方に在住、在職、又は在学する日本体力医学会会員、②自分を若手研究者と考える方

2. 特別講演（一般公開）

「運動はなぜ糖尿病を予防・改善するのか？」

講師：真鍋康子氏

（首都大学東京・人間健康科学研究科・准教授）

3. シンポジウム

「運動による内臓疾患予防・改善のメカニズムを探る」

シンポジスト：

田屋雅信氏

（東京大学医学部附属病院・リハビリテーション部）

柿木 亮氏（順天堂大学医学部・生理学第二）

小笠原準悦氏

（杏林大学医学部・衛生学公衆衛生学）

根本昌実氏

（東京慈恵会医科大学葛飾医療センター・総合内科）

4. 情報交換会

当番幹事：渡辺 賢（首都大学東京・人間健康科学研究科）

連絡先：masaru@tmu.ac.jp

運営：田口美香、古川順光、来間弘展、中原直哉

第13回 JISS スポーツ科学会議

「オリンピック・パラリンピックとスポーツ医・科学 -RioそしてTokyoへ-」開催のお知らせ

【日時】平成28年11月29日（火）

10：00～17：00（予定）

【場所】味の素ナショナルトレーニングセンター

研修室

住所：〒115-0056 東京都北区西が丘3-15-1

【参加費】無料

【シンポジウム①】

「リオオリンピックまでの4年間のJISS医・科学サポート」

【ポスターセッション】

「競技研究、課題研究、支援事業、その他」

【シンポジウム②】

「パラリンピックにおける医・科学サポート

-リオまでのサポートから学ぶこと-」

【オプション】

「JISS研究施設見学会」風洞実験棟、HPG等

【その他】

プログラムの詳細や申込み方法は、決定次第JISSのウェブサイト上（<http://www.jpnsport.go.jp/jiss/>）に掲載します。

※内容については都合により変更になる場合があります。

お問い合わせ先

国立スポーツ科学センター スポーツ科学部

研究・支援協力課

電話：03-5963-0202 FAX：03-5963-0232

Eメール：research-01@jpnsport.go.jp

平成29年度 公益財団法人 石本記念デサントスポーツ科学振興財団学術研究募集

主催：公益財団法人 石本記念デサントスポーツ科学
振興財団
THE DESCENTE AND ISHIMOTO MEMORIAL
FOUNDATION FOR THE PROMOTION OF
SPORTS SCIENCE

応募資格：

- ①体育学，健康科学，人間工学，被服科学，運動施設工学等健康の増進と体力の向上に関わる学術，およびその他スポーツ振興に寄与する学術研究に関する講座を持った大学，およびこれに準ずる研究機関に所属する個人またはグループ。
- ②高校生から幼児までの教育機関に奉職しており，①に前述した分野で研究または調査活動を積極的に行っている個人またはグループ。
この場合，運動生理学的研究でなくとも，あくまで教育現場に於ける身近なテーマで，すぐにも役立つ研究テーマを求めている。
但し，研究報告等に不慣れた人は，報告書作成に習熟した人を共同研究者に加えて申請のこと。

学術研究テーマ：自由課題学術研究

本財団の主旨に添ったものであり，申請者がこれまで行って来た研究を助成することによって，調査・研究の発展・充実が期待されるものであること。

応募方法：

本年度の公募締切日は平成28年11月9日です。

応募者は，所定の申請用紙に研究テーマ，目的，内容および期待される成果等を簡潔に書き，平成28年11月9日(当日消印有効)までに書面にて下記宛提出すること。

(申請書は所定用紙または当財団ホームページより，B4サイズにてダウンロードしたものとする。但し所定用紙をコピーし使用する場合，平成29年度申請書をコピーのこと，自作による作表および前回までの用紙は使用しないこと)

応募書類 送付先・資料の請求および問い合わせ：

〒543-8921 大阪市天王寺区堂ヶ芝1-11-3

(株)デサント 開発部内

公益財団法人 石本記念デサントスポーツ
科学振興財団 編集局

TEL：06-6774-0252 FAX：06-6774-0245

ホームページアドレス：

<http://www.descente.co.jp/ishimoto/>

E mail：zaidan@descente.co.jp

公益財団法人ソルト・サイエンス研究財団平成29年度研究助成の公募について

1. 助成の対象

<一般公募研究>

単年度(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

- ・医学分野：
塩類の生理作用，健康に及ぼす影響に関する研究
- ・食品科学分野：
食品の加工・調理・保存及び食品栄養における塩類の役割に関する研究

2. 募集件数および研究助成金額

<一般公募研究>

- ・医学分野：22件程度
- ・食品科学分野：9件程度
- ・研究助成金額：1件当たり120万円以下

3. 応募資格：

日本国内の大学，公的研究機関等で研究に携わる人(学生・研究生等を除きます)。若手研究者の積極的な応募を期待。

4. 応募方法：

財団のウェブサイトから平成29年度研究助成応募要領(Microsoft Word)をダウンロードし，応募要領に基づいて所定の書式に記入のうえ，書面により提出。

5. 応募期間：

平成28年11月1日～平成28年12月10日まで
(締切日財団必着)

6. 提出先：公益財団法人ソルト・サイエンス研究財団

〒106-0032

東京都港区六本木7-15-14 塩業ビル3階

電話：03-3497-5711

URL：<http://www.saltscience.or.jp>

7. 選考結果の通知：

財団の研究運営審議会による審査・選考等を経て，3月に応募者へ書面で通知。

編 集 後 記

第65巻5号(2016)掲載の総説2編, 原著論文3編をお届けします。

リオデジャネイロオリンピック・パラリンピックでは, 世界各国の代表選手による驚嘆に値するハイパフォーマンスによって, われわれ日本国民にもたくさんの感動がもたらされました。4年後(2020年)の東京開催でも日本選手の大活躍を期待したいところです。また, 最近(2016年9月13日), 厚生労働省は国内の百寿者(年齢100歳以上の高齢者)が65,692人に達したと発表しました。日本人の平均寿命は女性87.05歳, 男性80.79歳とすでに男女ともに80歳を超えている一方で, 出生数は減少傾向にあり, 少子高齢化がますます進行しています。現在の日本は, 次のオリンピック・パラリンピックに備えたアスリートの競技力向上課題だけでなく, 子どもから高齢者に至るすべての年代において健康問題や体力問題をも抱えていると言って過言ではないでしょう。本学会としても, このような国家的な問題に貢献できる対象・分野は決して少なくないはずです。

さて, 本号で掲載した総説2編は, 骨格筋機能には性ホルモンなどの内分泌系が関与する一方, トレーニング

による骨格筋適応メカニズムには性差が存在すること, 身体運動には体性感覚情報による制御が重要な役割を果たしていることが体系的かつ明解に説明されており, 専門外の者にも理解しやすくまとめられています。また, 原著論文3編では, 中国独自の身体活動指針に関する統計学的分析, ドロップジャンプにおいて高いパフォーマンスを発揮するための運動連関事象の相互関連性, 高齢者において筋力と筋量のいずれが起居移動動作能力や転倒との関連性が強いかに関する大変興味深い知見が述べられています。本号に掲載された論文を読むだけでも, 前段で述べた日本が抱える国家的問題の解決に資する有意義な内容が豊富に含まれていることが分かります。今後も『体力科学』が時代の要請に強く応えますます価値ある学術誌となるよう, 編集委員の一人として, また研究者の一人として微力ながらも尽力すると同時に, 会員の皆様には貴重な知見の発表の場として, これまで以上に『体力科学』にご投稿いただけることを祈念し, お願い申し上げます。

大 藏 倫 博

The Japanese Journal of Physical Fitness and Sports Medicine Vol.65, No.5

体 力 科 学 第 65 巻 第 5 号

平成 28 年 9 月 25 日 印 刷

平成 28 年 10 月 1 日 発 行

編集兼発行者
発 行 所

田 中 喜 代 次
一般社団法人日本体力医学会
〒112-0012 東京都文京区大塚 5-3-13
ユニゾ小石川アーバンビル4階 学会支援機構内
TEL: 03-5981-6015 FAX: 03-5981-6012
E-mail: jspfsm@asas.or.jp

編 集 事 務 局

〒997-0854 山形県鶴岡市大淀川字洞合 1-1
鶴岡印刷株式会社内
TEL: 0235-22-3120 FAX: 0235-22-3120
E-mail: hj-tairyoku@turuin.co.jp

印 刷 所

〒997-0854 山形県鶴岡市大淀川字洞合 1-1
鶴岡印刷株式会社